



R6 サマーコミュニケーション スクールを実施しました！



はじめまして！ 私たちR6の通級生から生まれた
「ツウキュウジャー」です。
サマコミへのご参加ありがとうございました！
サマコミの様子をご紹介します。見てね♪



<スライドの内容>

サマーコミュニケーションスクールを、
通称「サマコミ」と呼んでいます！

1. サマコミの目的と当日の流れ
2. 参加者数
3. 午前の内容
4. 参加者の感想紹介※
5. 午後の内容
6. 参加者の感想紹介※
7. 来年のサマコミについてお知らせ



サマー コミュニケーション スクール
2024 Summer Communication School

2024年
8月8日(木)
10:00～12:00 / 14:30～16:30

参加対象

学習会の部	交流会の部
★地域の小・中学校 で学ぶろう・難聴児	★地域の小・中学校 で学ぶろう・難聴児
★保護者	○保護者
★ろう・難聴児を担当 する先生方	○ろう・難聴児を担当 する先生方

内容(予定)

学習会の部 10:00～12:00 **Zoom開催!**
「高校生の話をきく会」
途中退室、途中入室、OKです!
*各家庭からご参加ください。
*PC、タブレットでの閲覧を推奨します。
*お申込みの方へ、後日 zoom のコードをお知らせします。

交流会の部 14:30～16:45 **来校開催!**
「レクリエーション 情報交換会」
14:00 受付
14:30 開会式
福祉機器の体験会
15:00 全体レクリエーション (お子さんのみ)
グループ別情報交換会 (お子さんのみ)
16:15 閉会式 (お子さんのみ)
16:45 終了
*レクリエーション以降は、お子さんのみの活動になります。ご見学は可能です。

在籍校、難聴級、
ことばの教室の先生方も
是非、ご参加ください!

申し込み
右記 QR コードから申し込みができます。
7月31日(水)までに、お申し込みください。

■ 問い合わせ先 ■ 平塚ろう学校ホームページ <http://www.hiratsukarou-sd.pen-kanagawa.ed.jp/>
神奈川県立平塚ろう学校 支援連携グループ サマコミ担当：三橋 長谷川 花田
電話：0463-32-0913 Fax：0463-32-1646
メール：hirarou-form-sd@pen-kanagawa.ed.jp

1. サマコミの目的と当日の流れ

サマーコミュニケーションスクールの目的

→地域の小・中学校で学ぶろう・難聴の児童・生徒と保護者が、レクリエーションや学習会を通して交流を深めると共に、本人が自己認識を深めていくきっかけとする。

当日の流れ

時間	内容
10:00～ 12:00	学習会の部 「高校生の話をきく会」 zoom実施
14:30～ 17:00	交流会の部 「福祉機器の体験会・レクリエーション」 集合開催 ※レクリエーションはお子さんのみ。 ※保護者や関係者は見学や福祉機器の体験会を実施。

2. 参加者数

学習会の部「高校生の話をきく会」

<申し込み者数>29名

<当日参加者数>26名

(小学生3名、中学生6名、保護者8名、関係者9名)

Zoomで実施



交流会の部「福祉機器の体験会・レクリエーション」

<申し込み者数>57名

<当日参加者数>55名

(きょうだい見3名、小学生13名、中学生2名、
通級生8名、保護者17名、関係者12名)

みんなで集まれた!



3. 午前の内容（一部抜粋）

現在高校1年生（昨年度中学3年生だった本校通級卒業生）4名に講師を依頼し、話をさせていただきました。

<講師への質問>

- ① 自己紹介・・・※個人情報の為、ここでの紹介は省略。
- ② 今、楽しいこと!
- ③ 中学校→高校で変化したこと
- ④ 高校入試について
- ⑤ 授業について（英語）
- ⑥ 周囲の人とのコミュニケーション方法
- ⑦ 後輩へのアドバイス!



高校生の話 ②「今楽しいこと」

友達と遊ぶこと!

☆高校生になり、自由時間が増えたので、ゲームをしたり、ゲームセンターに行ったりして遊んでいます。

・演芸部(部活)での小説作り

☆小説作りは、高校生になってから始めました。

学校!ゲーム!人生!

- ・ゲームをすること
- ・友達にオリジナルキャラクターを描いてあげること

☆ゲームはいろいろします!

高校生の話

③「中学校→高校で変化したこと」

- ・学校は、頭を使うことが増えた。
「あたまテスト」というiPadで行うテストがある。(国語・数学・英語)
- ・学校以外では、自由時間が増えた。
高校生になると、色々な決まりが少し緩くなるからだと思う。

- ・中学校に戻りたい。中学校の方が楽しかった。
→高校に入ってから聴力が落ちた。
コミュニケーションや友達関係の面で、中学生の方がよかった。

- ・学校は、高校からまじめに通うようになったら、ハッピーになった!
- ・学校以外のことは、「ひゃっほーい!」って感じで楽しい!(友達と映画やプールにも行けて楽しい)。

高校生になると、変化することも色々あるんだなあ。



高校生の話④「高校入試について」

<申請内容>

- ・英語のリスニングを別室受験で代替問題にしてほしい。
- ・試験監督にロジャーを使用してほしい。
- ・補聴器の使用を許可してほしい。
- ・訂正があった場合は黒板に書いてほしい。

<申請結果>

- ・当初、スクリプトで申請をしたが、当時の教育委員会から「少なくとも神奈川では前例がないので難しい」と回答があったため、代替問題で申請をした。

<感想>

- ・配慮申請はすると良いと思う。
- ・自分は代替問題はやりやすかった。
- ・自分の時の話だし、「少なくとも神奈川では」という話だったので、他は分からない。

<試験>

- ・ろう学校受験だったので配慮申請を出していない。
- ・試験内容は、国語/数学/社会/理科/英語/面接。マークシートではなく記述式。
- ・英語のリスニングはなかった。
- ・面接は、手話があったり質問内容を紙に書いて見せてくれた。

高校生の話

④「進路を決める時に意識したこと」

- ・自分の行きたいところに行く!
(行事が盛んだとか、知り合いが行っている学校だとか、色々な条件もあったが)

- ・入る前には意識してなかったが、高校に入学してから思うのが、学力を自分の限界から少し落としたところに入った方が良い。
- ・限界を目指した高校に入って、今勉強に苦しんでいる。
- ・文化祭などを見て、良いなと思ったら目指すのもよい。自分はどんな高校があるかよく分からず、学力に合いそうなところだけ見学したが、色々な考え方があると思う。

高校生の話

⑤「今の授業について（英語）」

・中学校の時は、英語のリスニングはロジャーも試したが、音で聞くと分からないところがあるので、スクリプトをやってもらった。良かった。

- ・ロジャーを試したが、うまく聞こえず、英語のワークは答えを見せてもらうこともある。
- ・中学校の時は、中3の時リスニングテストは別室受験でスクリプトを作ってもらった。すごくよかった。

高校生の話

⑥「周囲の人とのコミュニケーションについて」

- ・自分のクラスはゲームをしている人が多かったので、ゲームを通じて友達を作った。

- ・基本、音声で会話をしてもらっているが、聞こえない時は携帯しているメモ帳に、筆談で対応してもらっている。

- ・（聴の）先生とは普通に話しているが、生徒との会話はまだ覚えられていないけれど、手話を覚えたり、スマホなどで文字にして会話をしたりしている。

- ・聞こえる人には、できるだけ大きな声で話している。
- ・聞こえない、聞こえにくい人には、なんとなく身振り手振りで頑張って伝えようとしている。

高校生の話⑦「後輩へのアドバイス！」

- 共通の話題は欲しいので、趣味とか色々やってみるといいと思う！
- 大学の進路を決めるのは結構めんどくさいので、やってみたいことや教科とかを早めに決めると良い！決める時は結構悩むと思う。
(文系にするか理系にするかなども)
- どんな仕事につきたいかを、考えられるといいと思う。

- コミュカと手話力が一番大事！
誰とでも仲良くなれるようになって！
勉強もしようね♪
- 手話力は、ろう学校に入る人は絶対大事！

- 一日一善を心がけてください。できるだけ人を助けてください。いつか大きくなって、返ってきます。最初は3日に1回でも良いから。
- 小さなゴミを拾うだけでも良いからやってみてください。気持ちが楽になります。

- 時間がかかることなど、でかいこと、自分からチャレンジしようと思うことを今のうちに！高校になってからは、自分は時間が無くなってしまった。
- 興味があることにはチャレンジして！
- 自分はギターを始めたいと思って3年目。「忙しいし・・・」と理由を付けてやらなくなるので、みんなはやってみて！大きいことに挑戦すると、自信につながるのではと思う。

参加者より質問

「塾はいつから通っていますか？塾での配慮は？」

・塾には通っていないが、テキストブックとかワークとかを3年間使っていました。

・塾には通っていません。

- ・中3から通い始めた。
- ・ロジャーを使ってもらうことをお願いした。
- ・受験前には英語のリスニングはスクリプトを用意してもらった。



参加者より質問

「親御さんからしてもらって嬉しかったことは？」

- ・ありすぎて迷う・・・
- ・勉強で困っている時に、親が単語帳を作ってくれたことが嬉しかった。

- ・ありすぎて悩むけど、勉強のことなどを相談に乗ってくれたことに感謝している。

- ・確かにありすぎて・・・
- ・小学校の先生が、すごく丁寧に挨拶をしてくれたことも嬉しかった。

参加者より質問 「高校受験での配慮は、他にありますか？」

- ・高校の先生の方から、「ロジャーの使い方を説明してほしい」とのことで中学校まで足を運んでもらった。
そこでロジャーについて自分から説明をした。
- ・当日はスムーズにロジャーを使ってもらえたので、その方法を提案することもよいと思う。



どうしたら自分の力が一番発揮できるか、何をしてほしいかを考えて申請することが大事なんだなあ。なるほど！
ロジャーの使い方なども、説明できるようにしておくと良いかも！

参加者より質問

「友達との会話が恥ずかしいという子がいる。
どんな風に対応すると良いでしょうか？」

- ・小学生の頃に同じようなことがあった。
その時は紙に書いて伝えたり、自分から聞いて大丈夫かを確認していた。

- ・「恥ずかしい」という抵抗感はある。でもそのうえで会話はできた方が
良いなと考えた。
考え方を変えていきましょう！
- ・聞き返すことの抵抗感を減らしていきましょう！
- ・自分はこのやり方で克服した。合う合わないはあると思うが、試してください。

参加者より質問

「一人で静かに過ごすことが落ち着くという子がいる。
友達を作ってほしいが・・・」

- ・一人で居たい時期はあったけど、(その時は) マイナスな思考が多かった。
- ・最近はプラス思考になっていることが多くて、友達と話すことが楽しいと思っている。
- ・「一人で居たほうがいい」とマイナス思考で考えているのなら、プラス思考で考えてもらえたらと思う。

- ・一人で過ごしたいということは、どういう感じか？
- ・みんなと過ごしたいけど、過ごせなくて苦しい？
本当に一人で過ごしたい？それによって違うと思う。
- ・その子がどうしたいかを聞いてあげてほしい。
- ・「友達がいる方が幸せだ」という考え方を、改めてほしい。(強い言い方で、すみません)

- ・友達の作り方って、会話してたり、勝手に仲良くなるのかなと思う。
- ・人と話すことは大事だと思う。
- ・メンタルも大事! 前向きに。

4. 参加者の感想（抜粋）



- ・担当している子が小学校高学年なので、進路について話す時期になったと思った。当事者の話をきけて良かった。
- ・実体験に基づいた話（きこえが日常生活に与える影響、英語の授業や入試、コミュニケーションの取り方など）がきけたのが良かった。
- ・色々な気持ちや体験を話してくれ、とても勉強になった。
- ・生の声がきけたのが良かった。
- ・中学校と高校の学校生活や、心境の違いについて、率直な気持ちをきけて良かった。
- ・「友達がいる方が幸せというのが正しいとは限らない」という言葉が響いた。

5. 午後の内容（一部抜粋）

久しぶりに、お子さんだけでなく保護者や関係者も参加ができる参集開催で、55名の来校があった。午後は本校の通級生が進行をした。

<午後プログラム>

- ①開会式、午後の説明
- ②福祉機器の体験会（千里福祉情報センター様より）
- ③レクレーション【交流中!】
 - ・あたまおしりゲーム
 - ・ハンターとの勝負!
 - ・バスケシュートミッション
- ④閉会式、振り返り

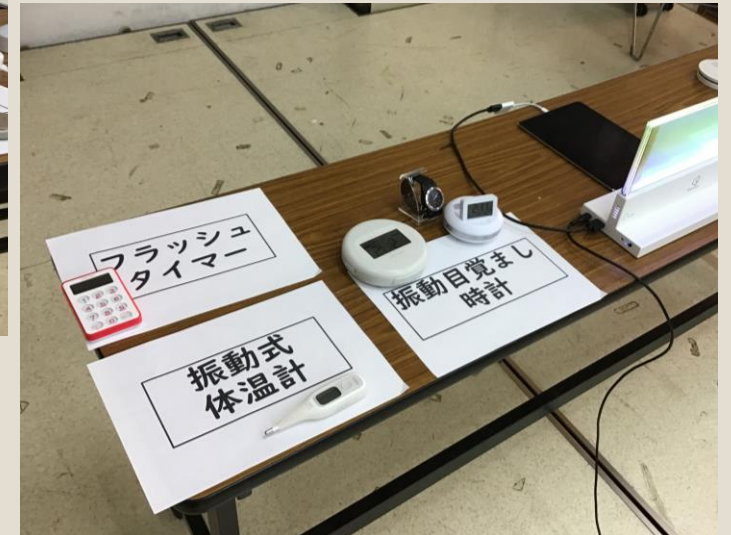
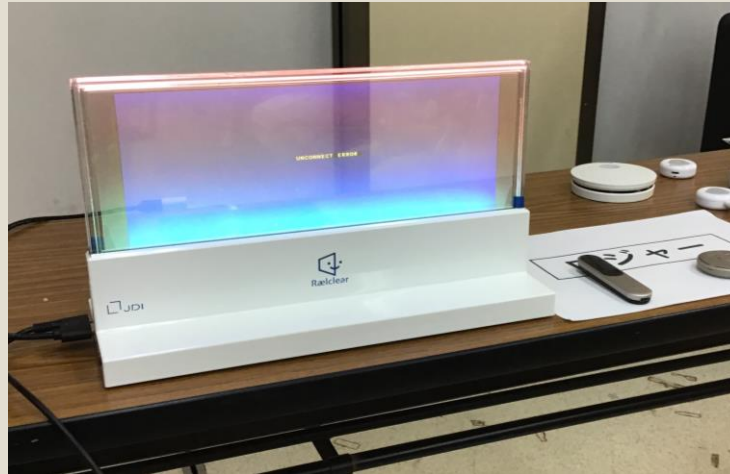


②福祉機器の体験会（紹介）

千里福祉情報センター様のご協力のもと、6種の福祉機器の説明・体験会を実施することができた。実際の振動や光の強さなどを体感できたことで、「今まで勘に頼るしかなかった」「これ欲しい!」等たくさんの感想が出た。

<体験できた機器>

- ①レルクリア
- ②振動目覚まし時計
- ③振動式体温計
- ④室内信号装置
- ⑤ロジャー各種
- ⑥フラッシュタイマー



③レクリエーション【交流中!】(紹介)

大人気『逃走中』ならぬ、【交流中!】を実施しました。

本企画は、通級生が限られた時間の中で、みんなで楽しめる方法を考えました。大盛り上がりだったため時間が足りなかったが、レクを通して自然と会話が弾んだり交流ができている様子が伺え、とても素敵な時間となりました。



あたまおしりゲーム

人気番組「バナナサンド」でおなじみのゲームを、サマコミ版にアレンジ！
小グループごとに1つの回答を制限時間内で考えてもらいました。
こちらの想定を超えた回答もあり、会場が一気に盛り上がりました。

【一番長かった回答の紹介】

- ①あたまの文字「さ」・おしりの文字「る」
→「サマーコミュニケーションスクール」
- ②頭の文字「は」・おしりの文字「か」
→「はちがつようか（8月8日）」
- ③あたまの文字「ひ」・おしりの文字「う」
→「ひらつかろうがっこう」



ハンターに挑戦!

本家からハンターが参戦??!

あまりの迫力に「こ、怖い・・・」「え?本物?ちがうよね?え・・・?」と、後ずさりや怖がる子も出現!ハンターの足の速さに中学生も驚いていたのが印象的でした。安全面を考慮し、通級生が考えた『司令』も発動!四つ這いで逃げたり、捕まった仲間を助けたり、あっという間の時間でした。

☆参観者は体育館の上から様子を見学していただきました。

<司令>

- ① 四つ這い
- ② 大股歩き

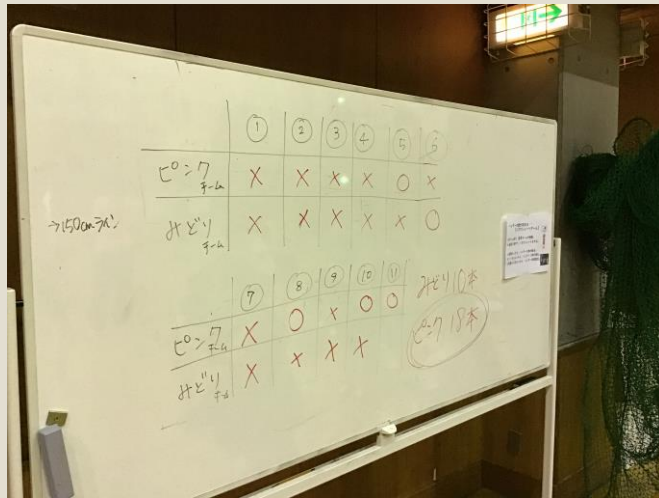


バスケシュート（ミッション）

ハンターの数が決まるミッションも発動。

一人1回バスケシュートに挑戦し、入った数でハンターの発動数が決まりました。シュート位置は、年齢を考慮して通級生が設定。

チーム一丸となり、応援し合ったり喜び合っていました。



ナイスシュート！！

6. 参加者の感想（抜粋）

<福祉機器の体験会>

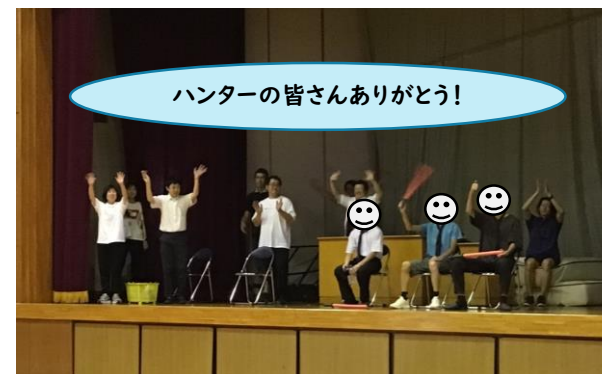
- ・レルクリアがすごいと思った。
- ・知らない機器や名前が知れてよかった。
- ・ブルブル（振動）がおもしろかった。
- ・自分のロジャーとは違う形もあるんだと思った。
- ・電子音を振動で伝えてくれるのはありがたい！
- ・体温計も、勘に頼るしかなかったから欲しくなった。
- ・目覚まし時計、少しほしかった。これが日常になったらすごい便利だと思う。
- ・初めて知る機械もあって新鮮だった。この機械があることで生活が便利になると思った。



6. 参加者の感想（抜粋）

<【交流中】のこと>

- ・追いかけてくるハンターが足が速くて、2回もつかまってしまった・・・。
- ・みんなとの時間が楽しかった。
- ・交流中を考えた人がすごいと思いました。
- ・同じ年の難聴の人に初めて会った。なんかうれしかった。
- ・Aちゃんがバスケシュートをきめたのが、かっこよかった。
- ・ハンターのクオリティーが高すぎておもしろかった。
- ・隣にいた人と話すことができてよかったし、楽しかった。
- ・みんなすごい楽しんでくれたと思うし、自分も楽しかった。時間が足りなかったところが悔しかった！
- ・つかまって残念だと思った。疲れた。楽しいと悔しい！



3 まとめ・お知らせ

多くの方にご参加いただき、縦横の交流が広がったように思います。
ご理解・ご協力、ありがとうございました！



年1回の交流ですが、このご縁を大切に来年も集まれたらと思います。
本校通級指導教室でも、9月の集団学習の中で今年度の反省を行いました。
来年に活かしていきたいと思いますので、ぜひ来年もご参加ください！

来年のサマーコミュニケーションスクールも8月8日に実施予定です！



詳しくは7月下旬頃、平塚ろう学校のHPにご案内が掲載されます。

皆様のご参加を今から心待ちにしております。

ありがとうございました！



支援連携グループ
通級指導教室
一同